

2026年1月20日

## 各 位

会社名 東洋合成工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁  
(コード番号:4970 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生  
電話番号 03-5822-6170

## 「新機能性材料展 2026」でUVナノインプリント樹脂を展示

東洋合成工業株式会社(代表取締役社長:木村有仁)は、2026年1月28日(水)~30日(金)に東京ビッグサイトで開催される「新機能性材料展 2026」に出展します。“情報&通信、リモートセンシング、AR&ディスプレイ、イメージセンシング等の光学用途で今後の需要拡大が見込まれる、当社が開発したUVナノインプリント樹脂を展示します。

## 記

## 【新機能性材料展 2026 概要】

名称: 「新機能性材料展 2026」

日程: 2026年1月28日(水)~30日(金)

会場: 東京ビッグサイト西ホール

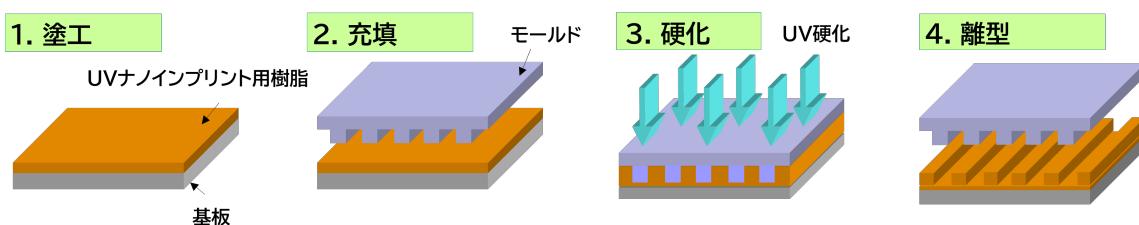
ブース: 小間番号 4W-M15

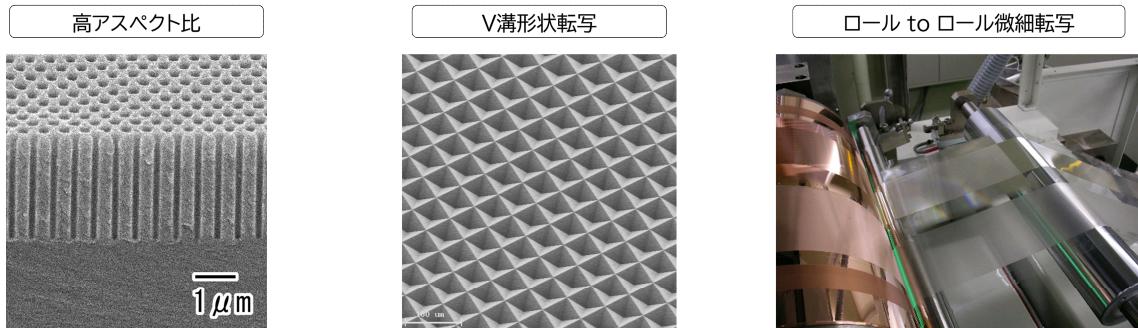
展示会の当社紹介ページ:

[https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2026/jp/convertech/details/xarmWF\\_5maU](https://unifiedsearch.jcdbizmatch.jp/nanotech2026/jp/convertech/details/xarmWF_5maU)

## 【ナノインプリントとは】

ナノインプリントとは、樹脂をモールドと基板で挟み込み、ナノメートルオーダーのパターンを転写する微細加工技術です。ナノインプリントの工程は、1. 塗工、2. 充填、3. 硬化、4. 離型の四要素からなり、非常に単純なプロセスでナノサイズの加工が完成します。低コストで量産できる微細加工技術として期待されています。半導体デバイス、XR/AR/MRデバイス、バイオ、光学部材など多方面の分野で、実用化への取組みが進んでいます。



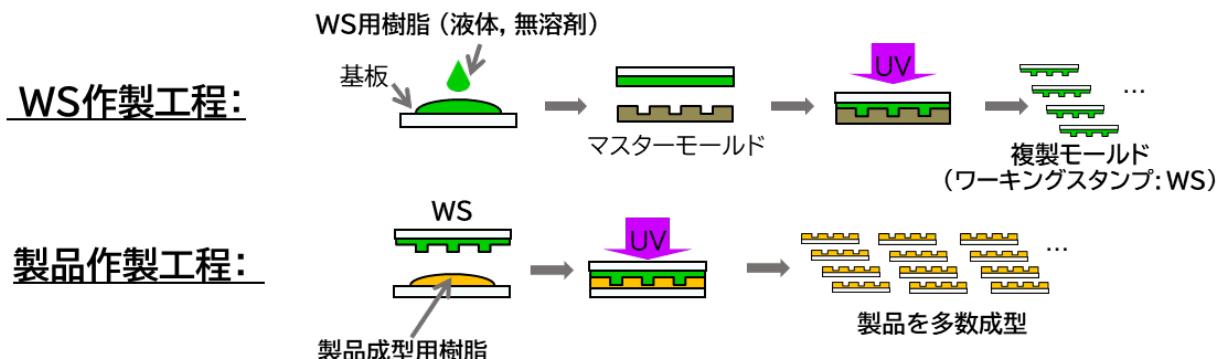


### 【本展示会での出展内容】

#### ○ワーキングスタンプ用樹脂

ワーキングスタンプ用樹脂は、高価なマスター モールドを忠実に複製し、最終製品に形状を付与する素材として、AR グラス等商用製品製造工程に採用されています。優れた繰り返し転写耐久性や離型剤を不要とする高離型性などの品質特性は、高度な成型精度が求められる光学系用途において特に有用な特性となります。幅広い光学用樹脂との適合性も良好であることが確認されており、「PAK-TRAD シリーズ\*1」として提供可能です。

\*1 PAK-TRAD シリーズは開発中製品です。

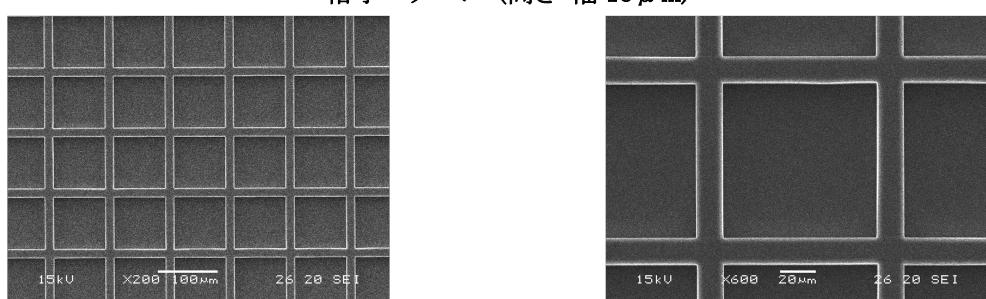


#### ○被転写樹脂(光学永久膜用途/基板加工用途)

最終製品に残りパターン形状に由来する光学特性を発揮するナノインプリント樹脂(光学永久膜用途)や、基板のエッチング加工に使用可能な犠牲膜用樹脂などの開発にも注力しています。当社ブースでは、これらの開発事例についても紹介いたします。

#### 光学永久膜樹脂によるパターンニング事例

##### 格子パターン (高さ・幅 15 μ m)



### 【東洋合成工業株式会社について】

東洋合成工業株式会社は、1954 年に創業し 2024 年に 70 周年を迎えた独立系の化学素材メーカーです。主力事業は半導体やフラットパネルディスプレイの製造に使用される感光性材料を供給する感光材事業および電子機器の製造に使われる高純度溶剤を供給する化成品事業です。また、液体化学品の保管と管理を行うロジスティック事業も行っています。感光性材料は、独自性や生産技術力、安定供給力の高い企業として、経済産業省から「2020 年グローバルニッチトップ企業 100 選」に選出。2024 年 11 月には、千葉工場(千葉県東庄町)、市川工場(市川市)、淡路工場(兵庫県淡路市)での供給能力拡大計画が、経済産業大臣により安全保障の確保の推進に関する法律に基づく助成金対象に認定。日本の半導体産業の未来戦略のなかでも重要な会社として成長が期待されています。

東洋合成工業株式会社公式 HP:<https://www.toyogosei.co.jp/>

以上